



 arrowsオススメ機能画面が表示されます。

2

FAST App ドライブ



 FAST Appドライブ画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3

  登録するアプリをタップ



 設定が完了します。

FAST Appドライブ利用時の操作

アプリを終了する

FAST Appドライブ画面で登録したアプリをタップ  アプリの終了

アプリの登録を解除する

FAST Appドライブ画面で登録したアプリをタップ  登録を解除

アプリを変更する

FAST Appドライブ画面で登録したアプリをタップ  アプリの変更  変更するアプリをタップ

アプリを並べ替える

FAST Appドライブ画面で登録したアプリの右側の  を上下にドラッグ

オンラインコミュニケーションマネージャーを設定する

快適にオンラインコミュニケーションを行うための各種設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
オンラインコミュニケーションマネージャー	オンラインコミュニケーションマネージャーを利用するかどうかを設定します。
通知を抑止 ¹	通知の表示と通知音を抑止するかどうか設定しま

	す。
着信時SMSで応答 ¹	電話の着信を行わずに、設定したメッセージを電話の発信元にSMSで返信するかどうかを設定します。
応答メッセージ ¹	電話着信時に返信するSMSのメッセージを編集します。
省電力 ¹	画面の明るさやパフォーマンスを下げて、電池の消費を抑えるかどうかを設定します。
画面撮影タイマー ¹	画面を撮影するためのタイマーの時間を設定します。
初期表示位置 ¹	オンラインコミュニケーションマネージャーの起動時の表示位置を設定します。
表示色 ¹	オンラインコミュニケーションマネージャーの表示色を設定します。
アプリを登録 ¹	オンラインコミュニケーションマネージャーを利用するアプリを登録します。

1 オンラインコミュニケーションマネージャーが有効のときに設定できます。

1

ホーム画面で   arrowsオススメ機能



 arrowsオススめ機能画面が表示されます。

2

オンラインコミュニケーションマネージャー



 オンラインコミュニケーションマネージャー画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3

各項目を設定



 設定が完了します。

迷惑電話対策機能を設定する

迷惑電話対策機能について設定します。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
迷惑電話対策	迷惑電話対策機能を利用するかどうかを設定します。
迷惑メモリスト	録音した会話を再生します。
機能説明	迷惑電話対策機能の使い方を確認できます。

1

ホーム画面で   arrowsオススメ機能



 arrows オススメ機能画面が表示されます。

2

迷惑電話対策機能



 迷惑電話対策画面が表示されます。

3

各項目を設定



 設定が完了します。



迷惑電話対策機能を有効にすると

連絡先に登録していない相手から着信したとき、または連絡先に登録していない相手に発信した通話に還付金詐欺に関する内容が含まれていることを検出したときは、通話を自動で録音することができます。着信時には特別な着信音でお知らせし、還付金詐欺の危険性を検出したときは通知音と警告表示でお知らせして、相手には通話を録音する旨の音声メッセージを流します。

- 迷惑メモは1件あたり最長60分、最大50件録音されます。50件を超えると、保護されていない古い迷惑メモから順に上書きされます。残しておきたい迷惑メモは保護してください。
- 還付金詐欺の危険性を検出した場合、1件あたりの録音時間は上限なしとなります。
- 割込通話が有効のときは、次の動作になります。
 - ・通話中に発信、および着信した場合、本機能は動作しません。
 - ・迷惑メモ録音中に別の相手と通話をすると録音が中断されることがあります。
- 通話の内容によっては、迷惑電話であっても機能しない場合や、迷惑電話ではないのに誤って動作する場合があります。
- 迷惑電話対策機能は、海外ではご利用できません。
- 還付金詐欺対策機能は、警視庁犯罪抑止対策本部からの助言を参考にFCNT株式会社が開発したものです。



迷惑メモ再生時の操作

迷惑メモを再生する

迷惑電話対策画面で迷惑メモリスト → 迷惑メモをタップ → 

- 途中で止めるときは、 をタップします。

迷惑メモを保護する

迷惑電話対策画面で迷惑メモリスト  迷惑メモをタップ    保護設定

- 保護を解除するときは、  保護解除 と操作します。

ジュニアモードを設定する

アプリや利用時間の制限を設定することができます。

1

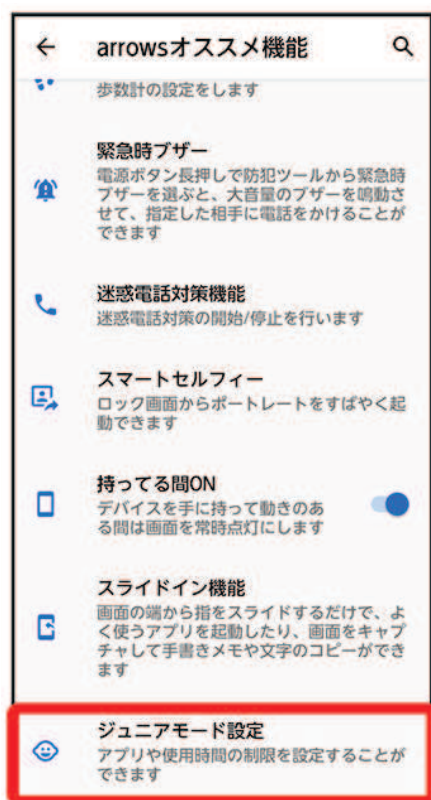
ホーム画面で   arrowsオススメ機能



 arrowsオススメ機能画面が表示されます。

2

ジュニアモード設定



 パスワード登録画面が表示されます。

3

パスワード入力欄をタップ ➡ パスワードを入力 ➡ パスワード(再入力)欄をタップ ➡ パスワードを再度入力 ➡ OK



4

あなたが尊敬する人の名前は？ ➡ 質問内容をタップ ➡ 秘密の質問の答え入力欄をタップ

➡ 答えを入力 ➡ OK

秘密の質問登録

秘密の質問を設定してください

あなたが尊敬する人の名前は？

秘密の質問の答え

XXXXX

キャンセル OK

MENU あ か さ 1 2 3

た な は 4 5 6

ま や ら 7 8 9

あ A 小 わをん 確定

5

電話番号入力欄をタップ ➡ 保護者の電話番号を入力 ➡ 電話番号(再入力)欄をタップ ➡ 保護者の電話番号を再度入力 ➡ OK

保護者の電話番号登録

保護者の携帯電話の電話番号を登録してください

090XXXXXXX

090XXXXXXX

パスワード、秘密の質問を忘れた際、パスワードをリセットするために携帯電話の電話番号が必要になります。
登録した保護者の携帯電話から、お子様の携帯電話にSMSメッセージを送信すると、パスワードをリセットすることができます。

キャンセル **OK**

Pause	1	2	3	✕
Wait	4	5	6	→
+	7	8	9	⌋
-	*	0	#	確定

 ジュニアモード設定画面が表示されます。

6

小学生／中学生／高校生



 設定が完了します。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

ジュニアモード設定利用時の操作

使用可能なアプリを選択する

ジュニアモード設定画面で **小学生** / **中学生** / **高校生**    使用可能なアプリを選択する

 使用可能にするアプリの ☐ (☒ 表示)

- あらかじめ、 (あんしんフィルター) のアプリインストール制限を有効にしてからご利用ください。使用不可に設定したアプリが解除されることがあります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

使用できない時間帯を設定する

ジュニアモード設定画面で **小学生** / **中学生** / **高校生**    使用できない時間帯を設定する  **制限1** / **制限2** / **おやすみ**  各項目を設定  **OK**  **完了**

- **追加登録**をタップすると、使用できない時間帯を追加で登録できます。
- **制限1** / **制限2** / **おやすみ**の  をタップすると、使用できない時間帯を解除できます。

1日の使用可能時間の上限を設定する

ジュニアモード設定画面で **小学生** / **中学生** / **高校生**    1日の使用可能時間の上限を設定する  各項目を設定  **完了**

パスワードなどを変更する

ジュニアモード設定画面で   **パスワード変更**  現在のパスワードを入力  **OK**  **パスワード**

ードを入力 ➡ パスワード(再入力)欄をタップ ➡ パスワードを再度入力 ➡ OK ➡ あなたが尊敬する人の名前は？ ➡ 質問内容をタップ ➡ 秘密の質問の答え入力欄をタップ ➡ 答えを入力 ➡ OK

電話番号を変更する

ジュニアモード設定画面で： ➡ 電話番号変更 ➡ 現在のパスワードを入力 ➡ OK ➡ 保護者の電話番号を入力 ➡ 電話番号(再入力)欄をタップ ➡ 保護者の電話番号を再度入力 ➡ OK

パスワードをリセットする

パスワードや秘密の質問を忘れたときは、パスワード登録時に登録した電話番号から、本機に特定の数字を入力したSMSを送信すると、パスワードがリセットできます。

ジュニアモード設定画面で： ➡ パスワード変更 ➡ 忘れた場合 ➡ 忘れた場合 ➡ 画面の指示に従って操作

！ ジュニアモード設定時のご注意

ジュニアモード設定時は、次の点にご注意ください。

- ジュニアモードの設定を行うと、ホーム画面上のアプリの配置が変更されます。
設定後にジュニアモードをOFFにしたときは、改めてアプリの配置を行ってください。
- ジュニアモード設定中に、すべてのデータを消去(出荷時リセット)を行うと、本機が初期化されて、ジュニアモードが解除されます。
- バックグラウンドで動作するアプリについては、制限時間になっても動作し続けます。

システムの設定

言語と入力や日付と時刻、バックアップ、リセットなどの設定ができます。

↓ システムの設定

↓ 24時間表示に設定する

↓ 初期状態にリセットする

+ システム利用時の操作

英語表示に切り替える

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 言語 → 言語を追加 → 「English (United States)」の  を上にドラッグ

 再起動後に英語表示に切り替わります。

音声入力を利用するかどうかを設定する

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 画面キーボード → 画面キーボードを管理 → Google音声入力

- Google音声入力をタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

キーボード／音声入力を設定する

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 画面キーボード → 設定するキーボード／音声入力をタップ → 設定項目をタップ → 画面の指示に従って操作

単語リストに単語を登録する

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 詳細設定 → 単語リスト → + → 単語入力欄をタップ → 単語を入力 → 次へ → ショートカットを入力 → 確定 → 

- 登録した単語はSuper ATOK ULTIASには反映されません。

マウス／トラックパッドのポインタの速度の設定をする

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 詳細設定 → ポインタの速度 → 調節バーを左右にドラッグして速度を調節 → OK

テキスト読み上げに関する設定をする

ホーム画面で  → システム → 言語と入力 → 詳細設定 → テキスト読み上げの設定 → 画面の指示に従って操作

システムの設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
言語と入力	表示言語や文字入力に関する機能を設定できます。
動作	電源キーを2回押してカメラを起動するかどうかや電源キーと音量大キーを同時に押したときにマナーモードを起動させるかどうかなどを設定します。
日付と時刻	日付や時刻に関する機能を設定できます。
バックアップ	アプリのデータやWi-FiパスワードなどをGoogle ドライブにバックアップするかどうかなどを設定します。
詳細設定	・リセット オプション ネットワーク設定のリセットやアプリの設定のリセット、初期状態にリセットができます。 ・システム アップデート ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。 詳しくは、「ソフトウェアの更新について」を参照してください。 ・ハードウェアに関するフィードバック ハードウェアに関するフィードバックを送信するかどうかを設定します。 ・診断データ送信 本機の品質向上のために、詳細な診断データを送信するかどうかを設定します。

24時間表示に設定する

1

ホーム画面で



2

システム



3

日付と時刻



4

言語／地域のデフォルトを使用する(☒表示)



 ユーザーの言語／地域の標準に従って24時間表示／12時間表示が自動設定されます。

- 言語／地域のデフォルトを使用するをタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。
- 言語／地域のデフォルトを使用するが無効の場合は、24時間表示をタップするたびに、24時間表示()／12時間表示()が切り替わります。

初期状態にリセットする

1

ホーム画面で



2

システム



3

詳細設定



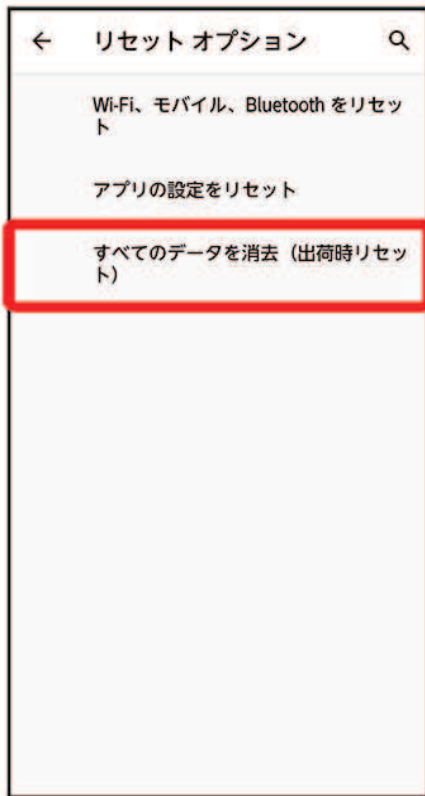
4

リセット オプション



5

すべてのデータを消去(出荷時リセット)



6

すべてのデータを消去



すべてのデータを消去（出荷時リセット）

この操作を行うと、以下のデータを含め、スマートフォンの内部ストレージの全データが消去されます。

- Google アカウント
- システムやアプリのデータと設定
- ダウンロードしたアプリ
- 音楽
- 画像
- 他のユーザーデータ

この操作を行っても次のデータは削除されません:

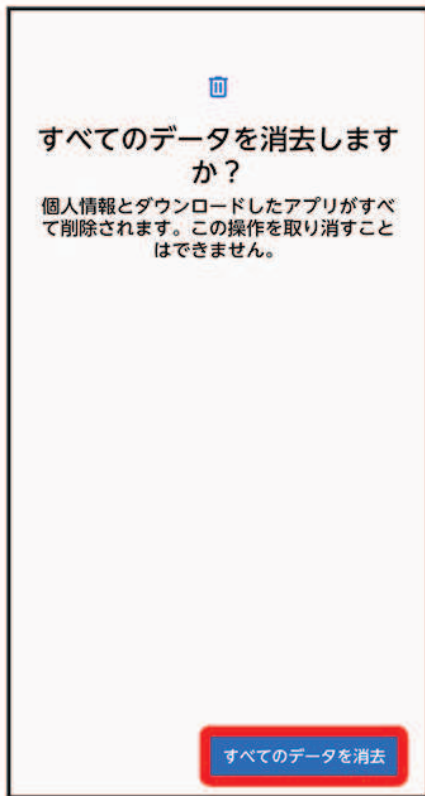
- NFC/おサイフケータイのデータ
- SDカードのデータ

すべてのデータを消去

- セキュリティ解除方法がなしまたはスワイプ以外の場合は、ロックを解除する操作を行います。
- eSIMを使用しているときは、ダウンロードされたeSIM を消去にチェックを入れたままで次に進むと、現在利用しているeSIMが消去されますのでご注意ください。

7

すべてのデータを消去



 初期状態へリセットされます。

eSIMを消去した場合

eSIMを消去したあとに再度eSIMを利用する場合は、eSIMダウンロード用のQRコードの再発行が必要になります。

eSIMを消去した場合でも、ご契約が解除されたわけではありません。

その他の端末設定

- ↓ ネットワークとインターネット
- ↓ 接続済みのデバイス
- ↓ アプリと通知
- ↓ ストレージ
- ↓ プライバシー
- ↓ 位置情報
- ↓ アカウント
- ↓ ユーザー補助
- ↓ Digital Wellbeing と保護者による使用制限
- ↓ Google
- ↓ デバイス情報

ネットワークとインターネット

Wi-Fiやモバイルネットワークなど、ネットワークやインターネットに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi接続の利用を設定できます。 詳しくは、「 Wi-Fiで接続する 」を参照してください。
モバイル ネットワーク	モバイルネットワークに関する設定ができます。 データローミング、優先ネットワークの種類、ネットワークを自動的に選択について詳しくは、「 海外でご利用になる前に 」を参照してください。
機内モード	電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効にできます。 詳しくは、「 機内モードについて 」を参照してください。
アクセス ポイントとテザリング	テザリングを設定します。 詳しくは、「 テザリング機能を利用する 」を参照してください。
データセーバー	一部のアプリのバックグラウンドでのデータ送受信を停止するかどうかを設定できます。

詳細設定

・VPN

VPNの接続先を設定します。

・プライベート DNS

プライベートDNSを設定します。

+ ネットワークとインターネット利用時の操作

モバイルデータを有効にするかどうかを設定する

ホーム画面で  → ネットワークとインターネット → モバイル ネットワーク → モバイルデータ

- モバイルデータをタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

データセーバー機能を設定する

ホーム画面で  → ネットワークとインターネット → データセーバー → データセーバーを使用 ( 表示)

- データセーバーを使用をタップするたびに有効()／無効()が切り替わります。

データセーバー機能の対象外とする機能を設定する

ホーム画面で  → ネットワークとインターネット → データセーバー → モバイルデータの無制限利用 → アクセス対象外としたいアプリ名をタップ ( 表示)

- アプリ名をタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。

接続済みのデバイス

Bluetooth®接続など、ほかの機器との接続に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
新しいデバイスとペア設定する	近くにあるBluetooth®機器を検索し、本機にペア設定します。 詳しくは、「 Bluetooth®機器をペア設定する 」を参照してください。
接続の設定	Bluetooth®接続やNFCの動作などに関する設定ができます。 Bluetooth®について詳しくは、「 Bluetooth®機能を利用する 」を参照してください。 NFCについて詳しくは、「 NFC／おサイフケータイ®を利用する 」を参照してください。 Bluetoothで受信したファイルについて詳しくは、「 Bluetooth®でデータを受信する 」を参照してください。

アプリと通知

アプリや通知に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
XX 個のアプリをすべて表示	インストールしたアプリの確認や設定をします。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を確認します。
通知	通知に関する設定ができます。
利用時間	本機の総利用時間の履歴を確認できます。アプリごとに使用時間を制限することもできます。 詳しくは、「 Digital Wellbeing と保護者による使用制限 」を参照してください。
詳細設定	・デフォルトのアプリ 標準で起動するアプリを設定できます。 ・権限マネージャ アプリに必要な許可について設定できます。 詳しくは、「 アプリに必要な許可を設定する 」を参照してください。 ・緊急速報メール 緊急速報メールに関する設定ができます。 詳しくは、「 緊急速報メールを利用する 」を参照してください。 ・特別なアプリアクセス 特別なアプリアクセスに関する設定ができます。

通知をブロックしたいアプリを設定する

指定のアプリからのすべての通知をブロックします。

ホーム画面で   アプリと通知  XX 個のアプリをすべて表示  通知をブロックしたいアプリをタップ  通知  XXXのすべての通知 ( 表示)
■ XXXのすべての通知をタップするたびに、有効 () / 無効 () が切り替わります。

ストレージ

内部ストレージやUSBドライブ、SDカードの容量の確認や、SDカードのマウント／マウント解除、SDカード内のデータの消去などが行えます。設定できる項目は次のとおりです。

■ SDカードやUSBドライブの状態によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
内部共有ストレージ	内部ストレージの使用容量の詳細を確認できます。

USBドライブ ¹	USBドライブに保存されているデータを確認できます。
SDカード	SDカードに保存されているデータを確認できます。 また、SDカードのフォーマットやマウント／マウント解除なども行えます。 SDカードのフォーマットやマウント解除について詳しくは、「 SDカードについて 」を参照してください。

1 USB機器を検出しているときに表示されます。

プライバシー

権限マネージャやパスワードの表示など、プライバシーに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
権限マネージャ	アプリに必要な許可について設定できます。詳しくは、「 アプリに必要な許可を設定する 」を参照してください。
パスワードの表示	パスワード入力時に、文字を隠さずに表示するかどうかを設定します。
ロック画面上の通知	ロック画面に通知を表示させるかどうかを設定します。
Google の自動入力サービス	Google の自動入力サービスを利用するかどうかを設定します。
詳細設定	・Google ロケーション履歴 Google ロケーション履歴™について設定します。 ・アクティビティ管理 アクティビティ管理を設定します。 ・広告 広告に関する設定をします。 ・使用状況と診断情報 Googleに使用状況と診断情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

位置情報

位置情報に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
位置情報の使用	位置情報を利用するかどうかを設定します。
すべて表示	最近の位置情報を利用したアプリを表示します。
位置情報へのアプリのアクセス	位置情報の利用を許可するかどうかをアプリごとに設定します。
Wi-Fi のスキャンと Bluetooth	位置情報を使用する機能やサービスの改善などのためにWi-Fiや

のスキャン	Bluetooth®のスキャンを許可するかどうかを設定します。
詳細設定	・Google ロケーション履歴 Google ロケーション履歴について設定します。 ・Google 位置情報の精度 位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。 ・Google 現在地の共有機能 現在地の共有設定を管理します。 ・緊急位置情報サービス 緊急時に現在地を送信するかどうかを設定します。

アカウント

アカウントの新規作成／追加や、自分から設定などについて設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
アカウントを追加	アカウントの新規作成／追加ができます。
アプリデータを自動的に同期する	自動的にデータを同期するかどうかを設定します。
マイプロフィール	自分の連絡先を設定します。
自分から設定	誕生日や性別、身長、体重を設定します。

自動的にデータを同期する

ホーム画面で   アカウント  アプリデータを自動的にデータを同期する  OK

■ アプリデータを自動的にデータを同期するをタップするたびに、有効()／無効()
が切り替わります。

ユーザー補助

字幕や拡大操作など、本機を使用するうえで便利なユーザー補助機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
パスワード入力時のウェブサイト安全性確認／パーソナルノート	パスワード入力時のウェブサイト安全性確認／パーソナルノートについて設定します。
テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げに関する設定をします。
フォントサイズ	画面に表示される文字の大きさを設定します。
表示サイズ	画面に表示される画像やアイコンなどの大きさを設定します。
ダークテーマ	黒基調の画面になるダークテーマを利用するかどうか

	かやダークテーマを利用する時間を設定します
拡大	ショートカットを利用して表示を拡大できるようにするかどうかを設定します。
色補正	色補正に関する設定をします。
色反転	色を反転させるかどうかを設定します。
マウスポインタを拡大	マウス使用時のポインタを大きくするかどうかを設定します。
アニメーションを無効化	 をタップしたときなどのアニメーションを省略するかどうかを設定します。
自動クリック(静止時間)	マウス/トラックパッド利用時、ポインタを停止したときにクリックするまでの時間を設定します。
電源ボタンで通話を終了	通話中に電源キーを押したとき、通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本機の方角に応じて、画面を自動的に回転させるかどうかを設定します。
長押しする時間	ロングタッチをするときの、画面を押し続ける時間を設定します。
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を設定します。
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	電話着信時やメッセージ受信時などにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
システム ナビゲーション	ナビゲーションバーの設定を行えます。
モノラル音声	音声再生をモノラルにするかどうかを設定します。
オーディオバランス	オーディオの左右のバランスを設定します。
字幕の設定	字幕表示について設定します。
高コントラストテキスト	画面に表示される文字を縁取りするなどして見やすくするかどうかを設定します。
詳細設定	ロック画面で音量大キー/音量小キーを同時に長押しして、拡大表示や色補正、色反転を有効にするかどうかを設定します。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本機の利用時間の管理や、保護者による使用制限の設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
XX分/XX時間XX分 ¹	本機の今日の総利用時間を確認できます。
ダッシュボード ¹	本機の総利用時間の履歴を確認できます。アプリごとに使用時間を制限することもできます。

おやすみ時間モード ¹	指定した時間におやすみ時間モードを起動するように設定できます。
フォーカス モード ¹	集中の妨げになるアプリを一時停止します。曜日や時刻を指定することもできます。
通知を管理 ¹	アプリの通知を管理します。
サイレント モード ¹	サイレントモードに関する設定をします。
アプリの一覧にアイコンを表示 ¹	Digital Wellbeingをアプリとしてランチャー画面に表示するかどうかを設定します。
保護者による使用制限を設定する	保護者による使用制限を設定できます。

1 項目が表示されていないときは、**データを表示**をタップすると表示されます。

Google

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。設定できる項目は次のとおりです。

■ あらかじめ、Google アカウントでログインしておいてください。

項目	説明
Google アカウントの管理	Google アカウントについて設定します。
Google アプリの設定	ウォーキングやランニングなどの記録や体重管理などができるGoogle FitやGoogle Play Instantなどについて設定します。
セットアップと復元	仕事用プロファイルや本機付近のデバイスに関する設定をしたり、バックアップした連絡先を復元したりします。
デバイス、共有	同じWi-Fiネットワーク上にある、Chromecast™などを搭載したテレビやスピーカーでメディアを再生しているときに、通知パネルから直接操作するかどうかを設定したり、本機付近のデバイスに関する通知を設定したり、ニアバイシェアを使ったファイル共有ができます。
デバイスを探す	本機を紛失した場合に本機の位置を表示するようにするかどうかを設定します。
バックアップ	バックアップに関する設定をします。
モバイルデータ、メッセージ	Google ドライブに対応したアプリでの、ファイルの更新に関して設定したり、Google アカウントを再設定するための電話番号を設定したりします。
保護者による使用制限	保護者による使用制限を設定します。
共有データに基づくカスタマイズ	共有データの使用を許可するかどうかを設定します。

広告	広告IDに関する設定をします。
自動入力	Google アカウントに保存されているパスワードなどの情報や、SMS確認コードを自動的に入力するかどうかを設定します。

デバイス情報

デバイス名や電話番号などを確認することができます。確認／設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
デバイス名	デバイス名を確認します。
電話番号(SIM スロット 1)／電話番号(SIM スロット 2)	電話番号を確認します。
緊急時情報	緊急時情報を編集します。
法的情報	サードパーティライセンスやGoogle 利用規約などを確認します。
規制ラベル	技適マークや無線LAN(Wi-Fi)周波数帯など、各規制に関する詳細を確認します。
SIM ステータス(SIM スロット 1)／SIM ステータス(SIM スロット 2)	SIMカード内の情報(ネットワーク名や電話番号など)を確認します。
モデルとハードウェア	モデルやシリアル番号を確認します。
IMEI(SIM スロット 1)／IMEI(SIM スロット 2)	IMEIを確認します。
Android バージョン	Androidバージョンを確認します。
IP アドレス	IPアドレスを確認します。
Wi-Fi MAC アドレス	Wi-Fi MAC アドレスを確認します。
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	デバイスの Wi-Fi MAC アドレスを確認します。
Bluetoothアドレス	Bluetooth [®] アドレスを確認します。
稼働時間	稼働時間を確認します。
ビルド番号	ビルド番号を確認します。

海外でご利用になる前に

本機は世界対応ケータイです。お使いのソフトバンク携帯電話の電話番号をそのまま海外で利用できます。

本機はお買い上げ時、自動的に滞在地域の適切な通信事業者に接続するように設定されています。特定の通信事業者を利用したい場合は、手動で選択することもできます。

その他、必要に応じて通信方式、データローミングの設定を変更してください。

↓ 通信方式を設定する

↓ 通信事業者を設定する

↓ データローミングの設定を変更する

通信方式を設定する

1

ホーム画面で   ネットワークとインターネット



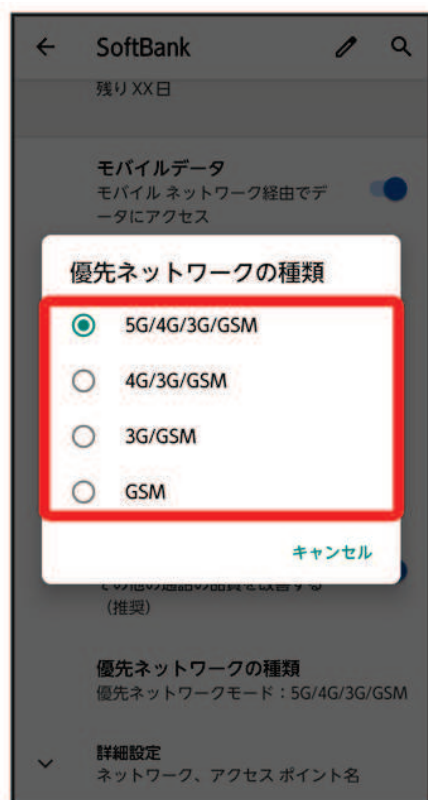
2

モバイル ネットワーク



3

優先ネットワークの種類 ➡ 5G／4G／3G／GSM／4G／3G／GSM／3G／GSM／GSM



 通信方式が設定されます。

- お買い上げ時は5G／4G／3G／GSMに設定されています。日本国内や3G／GSMネットワークの通信事業者のみの地域で本機を使用する場合は設定を変更する必要はありません。

通信事業者を設定する

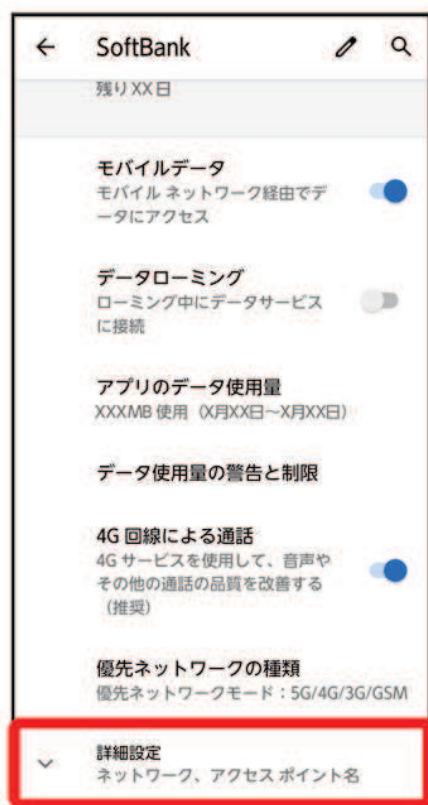
1

ホーム画面で   ネットワークとインターネット



2

モバイル ネットワーク → 詳細設定



3

ネットワークを自動的に選択(表示)



 利用可能なネットワークが検索されます。

4

接続するネットワークをタップ



 選択した通信事業者が設定されます。

データローミングの設定を変更する

1

ホーム画面で   ネットワークとインターネット



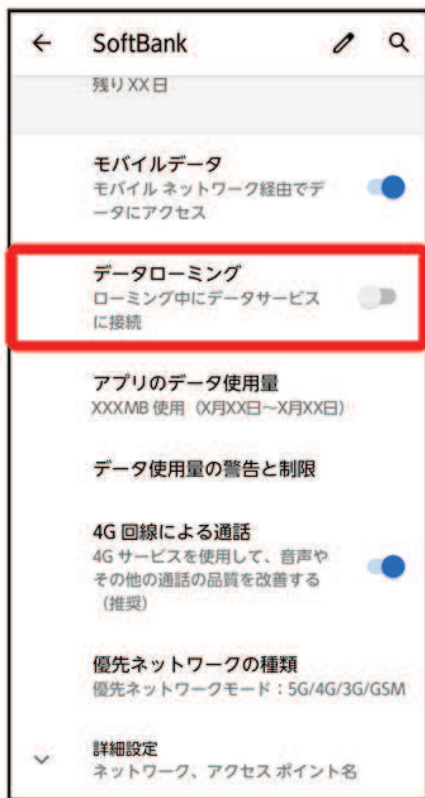
2

モバイル ネットワーク



3

データローミング (表示)



 ローミングが有効になります。

- データローミングをタップするたびに、有効()／無効()が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

海外で電話をかける

海外にお出かけになるときは、「世界対応ケータイ海外ご利用ガイド」を携帯してください。

- ↓ 海外から日本へ国際電話をかける
- ↓ 滞在国の一般電話／携帯電話にかける
- ↓ 海外から日本以外の国へ国際電話をかける

海外発信アシスト機能を利用するかどうかを設定する

ホーム画面で     設定  通話  ダイヤルアシスト  ダイヤルアシスト機能

■ ダイヤルアシスト機能をタップするたびに、有効(☒)／無効(☐)が切り替わります。

海外から日本へ国際電話をかける

1

ホーム画面で 



 電話画面が表示されます。

2





 電話番号発信画面が表示されます。

3

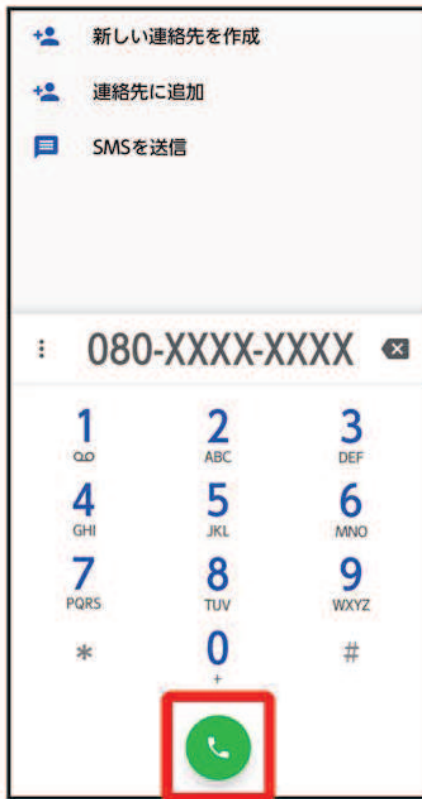
ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力



- 電話番号の先頭には「+」を付けないでください。

4





5

日本へ発信



6

発信



☑️ 電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

滞在国の一般電話／携帯電話にかける

1

ホーム画面で📞



 電話画面が表示されます。

2





 電話番号発信画面が表示されます。

3

ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力



- 電話番号の先頭には「+」を付けないでください。

4





5

滞在国内へ発信



6

発信



 電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

海外から日本以外の国へ国際電話をかける

1

ホーム画面で



 電話画面が表示されます。

2





 電話番号発信画面が表示されます。

3

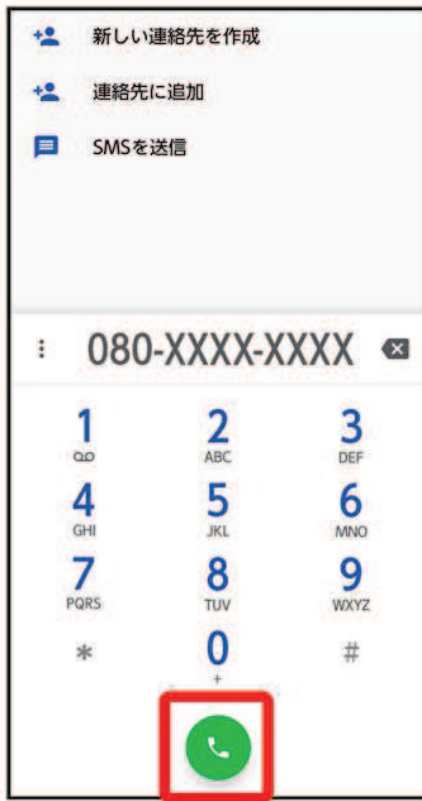
ダイヤルキーをタップして相手の電話番号を入力



- 電話番号の先頭には「+」を付けないでください。

4





5

国番号を選択



6

国番号をタップ



7

発信



🚩 電話がかかります。相手が電話を受けると、通話ができます。

電源が切れる

- ↓ 特定のアプリが動作中に発生する
- ↓ 新たにアプリをインストールした後から発生する

特定のアプリが動作中に発生する

アプリが原因の可能性があります。

アプリが最新版ではない場合は「[アプリを更新する](#)」を参照し、アプリを更新してください。

解消しない場合は、「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールした後から発生する

新しいアプリが原因の可能性があります。

セーフモードでアプリを削除してください。

セーフモードの起動方法は「[セーフモードで起動する](#)」を参照してください。

アプリの削除方法は「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照してください。

充電ができない、充電が遅い

↓ 充電が開始しない

↓ ACアダプタによって充電時間が長くなる

充電が開始しない

電池が空になっている可能性があります。
一定時間経過したら充電が開始されるかご確認ください。

ACアダプタによって充電時間が長くなる

急速充電用以外のACアダプタを使用した場合、充電速度が遅くなることがあります。
ソフトバンク指定の急速充電用ACアダプタはウェブサイトを参照してください。

電池の消費が早い

- ↓ 操作をしていないのに電池の消費が早い
- ↓ 特定の場所で電池の消費が早い
- ↓ 電池の消費を抑える設定をしたい

操作をしていないのに電池の消費が早い

アプリが操作をしていない状態でも通信を行っている場合があります。

「[バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する](#)」を参照し、設定を行うことで改善する可能性があります。

特定の場所で電池の消費が早い

電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いると、電池の消費が早くなる場合があります。

電池の消費を抑える設定をしたい

電池の消費を抑える省電力機能の設定を有効にすると、電池の消費が改善される可能性があります。

詳しくは、「[バッテリーセーバーを利用する](#)」を参照してください。

画面が突然消える

- ↓ 特定のアプリが動作中に発生する
- ↓ 新たにアプリをインストールした後から発生する

特定のアプリが動作中に発生する

アプリが原因の可能性があります。

アプリが最新版ではない場合は「[アプリを更新する](#)」を参照し、アプリを更新してください。

解消しない場合は、「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールした後から発生する

新しいアプリが原因の可能性があります。

セーフモードでアプリを削除してください。

セーフモードの起動方法は「[セーフモードで起動する](#)」を参照してください。

アプリの削除方法は「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照してください。

画面が固まったまま動かない

↓ 特定のアプリが動作中に発生する

↓ 新たにアプリをインストールした後から発生する

特定のアプリが動作中に発生する

アプリが原因の可能性があります。

アプリが最新版ではない場合は「[アプリを更新する](#)」を参照し、アプリを更新してください。

解消しない場合は、「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールした後から発生する

新しいアプリが原因の可能性があります。

セーフモードでアプリを削除してください。

セーフモードの起動方法は「[セーフモードで起動する](#)」を参照してください。

アプリの削除方法は「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照してください。

SDカードが利用できない

- ↓ 特定のアプリが動作中に発生する
- ↓ 新たにアプリをインストールした後から発生する

特定のアプリが動作中に発生する

アプリが原因の可能性があります。

アプリが最新版ではない場合は「[アプリを更新する](#)」を参照し、アプリを更新してください。

解消しない場合は、「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照し、特定のアプリを削除し、その後も同じ問題が発生するかご確認ください。

新たにアプリをインストールした後から発生する

新しいアプリが原因の可能性があります。

セーフモードでアプリを削除してください。

セーフモードの起動方法は「[セーフモードで起動する](#)」を参照してください。

アプリの削除方法は「[アプリを削除\(アンインストール\)する](#)」を参照してください。

メールの送信、受信ができない

- ↓ 送信も受信もできない
- ↓ 電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない
- ↓ ファイルを添付すると送信できない
- ↓ 特定の相手からのメールを受信できない

送信も受信もできない

「機内モード」になっている可能性があります。

「[機内モードを利用する](#)」を参照し、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない

「モバイルデータ」が無効になっている可能性があります。

ホーム画面で   ネットワークとインターネット  モバイル ネットワークと操作して、モバイルデータが有効 ( 表示) になっていることを確認してください。

ファイルを添付すると送信できない

+メッセージで添付できるファイルのサイズは最大100MBです。

サイズの大きいファイルの共有には、Google ドライブなどをご利用ください。

特定の相手からのメールを受信できない

迷惑メールフィルターの設定により届かない可能性があります。

迷惑メールフィルターの設定を確認してください。

インターネットに接続できない

- ↓ アプリからもブラウザからも接続できない
- ↓ 電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない
- ↓ ブラウザを利用すると接続できない
- ↓ Wi-Fi接続中だけインターネット接続できない

アプリからもブラウザからも接続できない

「機内モード」になっている可能性があります。

「[機内モードを利用する](#)」を参照し、機内モードを解除してください。

電波レベルアイコンに「5G」「4G」の表示がない

「モバイルデータ」が無効になっている可能性があります。

ホーム画面で   ネットワークとインターネット  モバイル ネットワークと操作して、**モバイルデータ**が有効 ( 表示) になっていることを確認してください。

ブラウザを利用すると接続できない

ブラウザの動作が一時的に不安定な状態になっている可能性があります。

「[閲覧履歴を削除する](#)」を参照し、ブラウザのキャッシュをクリアすることで改善する可能性があります。

Wi-Fi接続中だけインターネット接続できない

Wi-Fi接続に問題がある可能性があります。

「[アクセスポイントを選択して接続する](#)」を参照し、Wi-Fiを無効にした状態でインターネットに接続できるか確認してください。

通話ができない

↓ 発着信ともできない

↓ 全く着信できない

発着信ともできない

「機内モード」になっている可能性があります。

「[機内モードを利用する](#)」を参照し、機内モードを解除してください。

全く着信できない

「転送電話サービス」や「留守番電話サービス」を設定している場合、電話を受ける前に電話が転送されたり、留守番電話に接続されたりすることがあります。

「[転送電話サービスを利用する](#)」、「[留守番電話サービスを利用する](#)」を参照し、設定をご確認ください。

アプリが利用できない

↓ 新しいアプリをインストールできない

↓ アプリが起動できない

新しいアプリをインストールできない

本機の空き容量が少ないとアプリのインストールができません。
空き容量の確認については「[ストレージ](#)」を参照してください。
また、本機に対応していないアプリは、インストールできません。

アプリが起動できない

アプリの初回起動時、アクセス許可を設定するアプリがあります。
許可するように設定していない場合、アプリを起動できないことがあります。
「[アプリに必要な許可を設定する](#)」を参照し、設定を確認してください。

保証とアフターサービス

↓ 保証について

↓ アフターサービスについて

保証について

- 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。

<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>

- 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。

注意

損害について

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、[お問い合わせ先](#)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後目安として◆年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

す。



ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

仕様

↓ 本体仕様

本体仕様

項目	説明
サイズ(高さ×幅×奥行)	約◆◆◆×◆◆×◆.◆mm
質量	約◆◆◆g
内蔵電池	使用電池:リチウムイオン電池 公称電圧:◆.◆◆V 公称容量:◆◆◆◆mAh
連続通話時間	4G LTE (FDD-LTE):約◆◆◆◆分
連続待受時間	4G LTE (FDD-LTE):約◆◆◆時間 4G (AXGP):約◆◆◆時間
充電時間	ACアダプタ(USB PD-PPS対応 USB Type-C™ 急速充電 ACアダプタ[ZSDBAV] (SB-AC22-TCPD)):約◆◆◆分
最大出力	◆.◆W (4Gモード:AXGP網) ◆.◆W (4Gモード:FDD-LTE網)
通信速度	下り最大◆◆◆.◆Mbps／上り最大◆◆.◆Mbps

Temperature range (5 ° C to 35 ° C)

本製品の比吸収率(SAR)について

- ↓ [本製品の比吸収率\(SAR\)について](#)
- ↓ [欧州における電波ばく露の影響に関する情報](#)
- ↓ [米国連邦通信委員会\(FCC\)の電波ばく露の影響に関する情報](#)
- ↓ [Specific Absorption Rate \(SAR\) for This Product \(for Japan\)](#)
- ↓ [European RF Exposure Information](#)
- ↓ [CE RF Power Table](#)
- ↓ [Federal Communications Commission \(FCC\) Notice](#)
- ↓ [FCC RF Exposure Information](#)

本製品の比吸収率(SAR)について

この機種【arrows We】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準^{※1}は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の高さに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【arrows We】の側頭部におけるSARの最大値は◆.◆◆◆W/kg^{※2}であり、また下記の方法^{※3}により身体に装着した場合のSARの最大値は◆.◆◆◆W/kg^{※2}です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 携帯電話サービスと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 側頭部以外の位置におけるご使用方法

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のウェブサイトをご参照ください。

総務省のウェブサイト

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のウェブサイト

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

世界保健機関

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SoftBank スマートフォン各機種 of 電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本携帯電話機【arrows We】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR の許容値は 2W/kg で、本携帯電話機の側頭部における SAR の最大値は 0.43W/kg、アクセサリ等により人体より 1.5 センチ以上離して、その間に金属 (部分) が含まれないようにして使用する場合は SAR の最大値は 0.92W/kg です。

適合宣言書 (簡易版) ※1

本携帯電話機【arrows We】は、EU 指令 2014/53/EU に適合しています。詳しくは下記メーカーウェブサイトをご参照ください:

<http://www.fmworld.net/product/phone/softbank/doc/>

※1 本適合宣言書は英語が正文です。日本語は参考のために記載しています。

米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) とい

う単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.14W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は1.39W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【arrows We】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のウェブサイトを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety(英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone 【arrows We】 is compliant with the Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations on human exposure to radio frequency energy have established permitted levels of radio frequency energy, based on the standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value stipulated in the international guideline recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is ◆.◆◆◆ W/kg*** when tested for use at the ear, and ◆.◆◆◆ W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in the Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating

Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a $\diamond \cdot \diamond$ cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The WHO has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

- World Health Organization

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

- List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

<https://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.43 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body. In this case, the highest tested SAR value is 0.92 W/kg* at the separation distance of 1.5 cm from the body. For electronic safety, maintain the separation distance with accessories containing no metal, that position handset a minimum of the above distance. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Simplified Declaration of Conformity for 【arrows We】

Trade Mark : arrows

Model Name : A101FC

Hereby, FCNT LIMITED declares that the radio equipment type 【arrows We】 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: <http://www.fmworld.net/product/phone/softbank/doc/>.

CE RF Power Table

Radio type (Description)	Transmitter Frequency / Maximum Output Power
GSM (GSM900)	880-915MHz / 32.6dBm
GSM (DCS1800)	1710-1785MHz / 29.7dBm
UMTS (FDD I)	1920-1980MHz / 24.2dBm
UMTS (FDD VIII)	880-915MHz / 23.7dBm
LTE (FDD 1)	1920-1980MHz / 23.7dBm
LTE (FDD 3)	1710-1785MHz / 23.5dBm
LTE (FDD 8)	880-915MHz / 23.8dBm
LTE (TDD 42)	3400-3600MHz / 24.0dBm
WLAN 2.4GHz (IEEE 802.11b)	2400-2483.5MHz / 13.8dBm
WLAN 2.4GHz (IEEE802.11g)	2400-2483.5MHz / 12.9dBm
WLAN 2.4GHz (IEEE 802.11n)	2400-2483.5MHz / 12.80dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11a)	5150-5350MHz / 13.6dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11a)	5470-5725MHz / 13.9dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11n)	5150-5350MHz / 13.6dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11n)	5470-5725MHz / 13.9dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11ac)	5150-5350MHz / 13.3dBm
WLAN 5GHz (IEEE 802.11ac)	5470-5725MHz / 13.9dBm
Bluetooth (Bluetooth)	2400-2483.5MHz / 11.1dBm
RFID (NFC)	13.56MHz / -19.1dB μ A/m at 10m

The manufacturer of this product is FCNT LIMITED with its registered place of business at 7-10-1 Chuorinkan, Yamato-shi, Kanagawa 242-0007, Japan.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

• This device complies with part 15 of the FCC rules.

Operation is subject to the following two conditions :

- ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
 - The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.14 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 1.39 W/kg. Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 0.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID 2AYY9FMP185.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

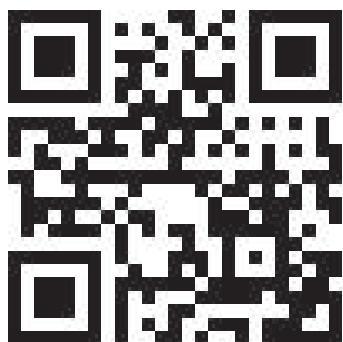
↓ 各種お手続き(My SoftBank)

↓ カスタマーサポート

各種お手続き(My SoftBank)

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<https://u.softbank.jp/2HHEHkw>



カスタマーサポート

機種の操作やサービス内容などのお困りごと・お問合せ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。

<https://u.softbank.jp/3i5JjAB>



ソフトバンク カスタマーサポート

検索

